



The service club to the YMCA  
**THE Y'S MEN'S CLUB OF  
 TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ  
 〒662-0977 西宮市神楽町5-23  
 西宮YMCA内  
 ☎(0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

**宝塚ワイズメンズクラブ 2014年3月会報 第306号**

主 題 ・ 標 語

- 国際会長 (I P) Poul V. Thomsen (デンマーク)  
 主題: "Go Ye Into All The World" 「全ての世界に出て行こう」  
 標語: "Extension, Extension, Extension."  
 「エクステンション、エクステンション、エクステンション」
- アジア地域会長 (AP) 岡野 泰和 (日本)  
 主題: "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」  
 標語: "One Asia, One World" 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
- 西日本区理事 (RD) 高橋 稔彦 (岩国みなみ)  
 主題: 「志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう。」  
 "Attend club meetings with a clear motive to make the most of them."  
 標語: 「経験がワイズを育みます」  
 "Your experience makes you a good Y's man."
- 六甲部長 山田 滋己 (神戸ポート)  
 主題: 「さらなる交流 さらなる国際 さらに活発な六甲部へ」  
 《一つ一つの楽しい活動を原点にして》
- 宝塚クラブ会長 石田 由美子  
 主題: 「交流こそワイズの楽しさ」

今月のテーマ: EF (寄付による資金事業)・JWF

そこで、イエスは言われた。「行きなさい。あなたの信仰があなたを救った。」盲人は、すぐ見えるようになり、なお道を進まれるイエスに従った。

マルコ 10:52

2014年3月第1例会

日 時: 2014年3月12日(水) 18:30

場 所: 宝塚ホテル ゴールドの間

会 費: 会員3,000円、会員外3,500円

ドライバー 若林 成幸

鯖尻 佳子

開会点鐘 石田由美子会長

ワイズソング 全 員

聖 書 桑田 勝弥

祈 禱 長尾 亘

ゲスト・ビジター紹介 石田由美子会長

入会式

沢田 郁さん

会長・委員会報告 会長・各委員長

YMCA 報告 谷川 尚連絡主事

会 食

お 話

「リー・クアンユー・小さな国の  
 大きな指導者」

関西学院大学総合政策学部教授 小池 洋次氏

誕生日のお祝い

閉会点鐘 石田由美子会長

2013/14 役員	会 長 石田由美子 直前会長 長尾 亘 副会長 杉谷和代、福田宏子 書記 若林成幸 会 計 吉田 明、堀江裕一 会計監査 今田 稔 メネット連絡 福田素子 連絡主事 谷川 尚 六甲部YMCAサービス・ユース事業主査 長尾 亘
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 長尾 亘 地域奉仕・環境 山崎泰男 EMC 多胡葉子 交 流 杉谷和代 ファン ド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘、(HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 三品ミチ子 じゃがいも 福田 肇 バザー 山崎泰男 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	福田素子(3月2日) 吉田 明(3月4日) 加藤光信(3月12日)
2 月 実 績	在籍会員数 23名 例会出席者数 29名 うち会員数 18名 出席率 78.2% メイクアップ(内数) 3名 メネット 2名 コメント・マゴメット1名、ゲスト・ビジター8名
	B F ポイント 2月 4,448円 累 計 24,285円 にこにこBOX 2月 4,400円 累 計 14,400円 物品販売累計 8,300円

## 2月第1例会報告

2月第一例会は12日(水)6時30分より宝塚ホテルで石田会長の開会点鐘で始まった。

聖書朗読、祈祷に続き、会長よりゲスト：岡野アジア会長、武庫川学校一大塚氏、吉田中之島クラブ会長、正野Yサ事業主任、重松元十勝AYC参加者の紹介があり、メン15名、メネット2名、マゴメット1名、スピーカーの新林智子氏、ご主人様とご令息で、参加者26名であった。



2月は(TOF)の月であり、全世界における飢餓に苦しむ人々のことを心に留め、何らかの支援、援助を再考慮する時でもあるとの、会長挨拶に続き、以下の会長報告がされた。

①西日本区大会：岩国(6/14~15) ②国際大会：インド・チェンナイ(8/07~10) ③京都キャピタル30周年記念例会(4/05) ④次期会長に杉谷和代メンが承認された。



YMC A報告：恒例3月に開催されるタイ・ワーク・キャンプは国の情勢悪化のため、今年中止。多胡メン：「東日本震災支援プロジェクト：揚がれ！希望の凧」(3/11)武庫川で開催。堀江メン：NGO活動紹介展(3/08~09) 長尾メン：今後のブリテンはE-mailで発送。ない人には郵送され、経費の軽減を期待。坂田メン：マニラでジョン・チョア氏に会い、フィリッピンのことを多く学んだ。正野Yサ事業主任：1/25AYC 9名の西日本区からの参加者

と1名の東日本区からの参加者で報告会が開催され、ユースの力、無限の秘めた可能性を再発見でき、初めての試みに多大な意義を感じたとの報告があった。

今日のスピーカーは新林智子氏：臨床心理士、九州大学在学中YMCA名島寮に入寮。長い歴史をもつこの寮で、男女、留学生20名と生活を共にして、歴代70~80名に及ぶ大先輩より多くのことを学び得たとのこと。今日は「子ども支援にまつわる、よもやま話：学生YMCA経験から気づいたことー」と題してお話を伺った。

YMCA寮では①聖書研究 ②東山荘での全国夏期ゼミナール ③ミリアム(性差別を考える会) ④WSCF(世界キリスト同盟)に参加。卒業後は「児童養護施設」で心理職を得た。児童養護施設の現状は：①システムは旧態で、衣食住の支援が中心 ②社会的ニードはどんどん変化していき、児童虐待、家庭内暴力で施設は満杯の状態、少数の職員等の原因でパニックまた厳しい状態は免れない ③子供同志のトラブル頻繁 ④職員の過酷な労働状況等が見受けられる一方、子どもたちは大人に振り回され、支援者とのズレも生じ、こども自身も「これから一体どうなるのか？ 未来はどうか・・・？」という不安を抱えているこどもも少なくないとのこと。子ども同志のいじめ等も隠れたところで生じ、施設よりも家のほうがましだと思っ子どもたちもいるのが事実である。これらの現状の実態を踏まえ以下のような考え方がなされるようになった。

- ①「子どもの人権」：川西市子どもの人権オンブズマン(パーソン)日本初「子どもの人権」を守る観点から設立された公的第三者機関
- ②国連子どもの権利条約：子どもの最善の利益をもとめそれぞれの子どもにとって一番良いことは何かそして安心して安住させることを考える。
- ③「子ども中心」支援の原則：子供との信頼を作る。対立的なものでなくて「つながりあえ

る関係」をつくる協力をしていく。子どもたちは今社会で何が起きているのか知りたがっているし、自分たちの意見や気持ちにもっと耳を傾けてほしいと願っている。具体的に現在は「元気いっぱい、琵琶湖キャンプ」のんびり、のびのびと楽しめるキャンプでお互いに話し合ったり、「野染め経験」キャンプ、南相馬市、宮城県南大河原町の支援等を繰り広げている。

最後にYMCAの人間観、子ども観：Body, Mind, Spritの大切さ、競争、比較とは異なる成長のありかたを考えるのがいかに重要であるかを念じ、わが子の育成にも様々な社会的要請やプレッシャーを感じつつも悩みに挑戦しつつ、大人として子どもを守れるかまた大切なことを伝えることができるか？等のことを考えなければならぬ・・・と、お話を締めくくられた。

「児童養護施設」に関してわれわれはその現状を的確に把握するのは困難を要するものであるが、それらに携わる方々にとり、無論子どもたちにとっても、とてつもない難題が山積されているのが垣間、拝見したような気がした。その後、数名による質問、誕生祝いがあり、男性群には宝塚花組美女群より、恐ろしいバレンタイン・チョコレートのプレゼント、中之島クラブ吉田会長、岡野アジア会長よりアピールがあり、閉会点鐘で例会を終了した。

福田宏子

## 2月第2例会報告

### 2月第2例会報告

2月19日（水）18時30分から2月第2例会が逆瀬川のハッピーハウスにおいて行われ、石田会長、多胡、福田宏子、吉田、堀江、長尾、若林各メン、谷川連絡主事、今田メネットが出席した。議事要旨は次の通り。

### 1 会員の異動を承認

- ① 沢田郁さんの入会式を3月第1例会で行う。立会人として西日本区 EMC 事業主任、六甲部 EMC 事業主査に出席をお願いする。
- ② 山崎泰男より6月末にて退会の届け。熟練者テニスに挑戦。遠征試合などが多く、Ys行事と両立が困難の由。いずれ再入会の時があることを期待して承認した。

### 2、3月第1例会のゲスト・スピーカー

小池洋次氏を迎え、シンガポールの建国の父、リー・クアンユーのメッセージを学ぶ。小池洋次氏は、日本経済新聞のシンガポール支局長、ワシントン支局長、日経ヨーロッパ社長などを経て、現在、関学総合政策学部教授。

### 3、Y's Extension Support 献金を承認

今期より西日本区事業目標に YES 献金があり、@180 円の目標額が明示されている。YES とは、ワイズ新クラブ設立を目指すための基金プログラムの略称。今期の予算に不算入であるが西日本区の要請に応える。

### 4、NGO 展の役割分担

3月8日（土）～9日（日）、国際交流センターにて開催の NGO 展に当クラブも出展する。開催期間中の役割分担を協議した。協力をよろしく。

	10~13時	13~17時	役割
3/7(金)		堀江・吉田 多胡・若林	飾り付け
3/8(土)	三品・長尾	吉田・今田 青柳	来客対応
3/9(日)	三品 福田宏子	堀江・石田 武田	来客対応 と撤収

### 5 3/11 希望の凧揚げ

はんしん自立の家・武庫川がつこう等の協賛による東北大震災被災者支援「希望の凧揚げ」について多胡らの呼びかけが奏功し意義

ある催しに。報告を承認し参加者・献金を募った。

3/11 11時30分仁川駅→12時自立の家集合→凧の製作→凧揚げ。自立の家提供のゼンざい交流など。事前準備に井上メネットが参加。Ys 献金で凧80組準備。参加予定：杉谷・鯖尻・三品・今田夫妻・青柳夫妻・堀江・福田(宏)・長尾・多胡。

#### 6、EMC 活性化についての提案

福田ヒメより「若年層の勧誘を進めるため例会参加費の一部をクラブが補助」の提案があり協議。その意義を認め、次年度に向けて予算化と運営の詳細を詰めることとした。

#### 7、3月ブリテン編集

長尾ヒよりブリテン編集・寄稿分担が示され、2/24 原稿締切、2/28 発送を確認した。

#### 8、その他

会長より、西日本区大会(岩国クラブ担当)、SP パーティー、キャピタルクラブ 30周年記念例会等の報告があり、参加要請があった。

若林書記

## 会長報告

### 故成瀬晃三前理事記念会報告

時が止まったかと思ったあの衝撃から早や、1年が経とうとしています。チーム成瀬の私達は「お墓へ行ってみよう」「成瀬理事にお礼が言いたい」などの思いを抱えながら任期が終了後もこの日を持って来ることを願って来ました。

理事キャビネットの平野実郎書記、渡辺真悟会計、谷川修事務局員、荒川恭次事務局員の大きなお



働きで1周忌を迎える直前に記念会が実現しました。

2014年2月22日(土)、14時、チーム成瀬の24名は名古屋駅で待合せ、車に分乗して名古屋市郊外の霊園へ向かいました。中部は勿論、びわこ部から九州部まで待ち切れなかった仲間達でした。この日は雲一つない晴天。成瀬さんは雨・嵐を呼ぶオトコと言う定説を完全に覆して私達を迎えて下さったのです。墓地にはご長男の成瀬秀晃氏が前夜、車を飛ばして船橋から到着されておりました。

この霊園はお寺の経営であるので墓石はほとんど仏式になっています。その中で、1つ、十字架が掘られた成瀬家のお墓の周



りの集まり、それぞれの思いで祈りました。2001年に召天された美恵子メネットの隣に新たに刻まれた「成瀬晃三」という名前を見て、「今は一人暮らしではないのだ」とホッとした感があります。

風もなく、あんなに寒かったのが嘘のような穏やかな午後でした。まるで「なるちゃん」のお人柄のような、あの優しい笑顔のような土曜日でした。

その後、ここから4名が加わり、17時から名鉄グランドホテルで、西村清牧師(名古屋クラブ)の司式で記念礼拝が持たれ、それに続く和やかな温かい夕食会へと進んでいきました。アトラクションは「成瀬クイズ」成瀬さんに関する豆知識16問です。例えば「成瀬さんがワイズに入ったのは何年でしょう？」4択の問題です。「成瀬さんのコレクションは何でしょう？」「何カ国に駐在してでしょう？」等等。びっくりしたのは次次期の時代から連続27回部会出席と言う偉業です。海外生活が長くお顔を知られていないため、西日本区内でご自身をアピールしようとの考えでした。最高点は11

問正解者2名。

そして参加者からの思い出話コーナーでは、ある人は、なかなか人事が決まらず困難なスタートをしたけど、成瀬さんの大きな励ましで1年を無事に終えることが出来た、と涙をぬぐいながら感謝の思いを表しました。

ある人は、理事からバースデーカードを貰った時はびっくりした、全体と同時に個も大切にす素晴らしい方だ、と・・・私もびっくりした一人です。

参加者の多くが「チーム成瀬であったことは誇り」「一緒にワイズを楽しめて本当によかった」と、改めて絆を感じたと思います。過去に例を見ない大変不幸なリーダーとの別れでしたが、こうやって又、みんなを集めて下さった「なるちゃん」に感謝し、思いをつないで行こう、と思いました。 石田 由美子

包まれ一緒に口ずさむ人も多く懐かしい曲からまた復興を願う曲もあって心温まるひとときでした。

その和やかな雰囲気の中で Stage 3 は皆で歌いましょうということで歌詞カードを見ながら皆で「冬景色」「花は咲く」などを合唱。また「手と手と手」の曲に乗って手を叩いたり動いたりして歌体操みたいなものをして楽しく過ごしました。

最後に「見上げてごらん夜の星を」を復興の願いをこめて皆で歌いました。会場を出る時に可愛い3人の子供達の手からバレンタインチョコレートのお土産が一人一人にプレゼントされました。またさんだクラブの方々と記念写真も撮りました。

外は雪の残る寒さでしたが、心は温かくなって帰路に着きました。 鯖尻 佳子

## さんだクラブのバレンタイン

### コンサートに参加して

2月9日(日)14時から、さんだワイズメンズクラブ主催の第21回バレンタインコンサートに行ってきました。Stage 1は森理菜さんによるピアノ演奏、ドビュシー(喜びの島)、Stage 2はシンセサイザーの弾き語りによる西田夫佐さんの美しい清らかな歌声に会場が和やかな雰囲気



## 神戸学園都市クラブ

### 20周年記念例会

2月15日(土)神戸学園都市クラブの20周年記念例会が豪華な会場、エスタシオン・デ・コウベで行われ、宝塚クラブからは青柳、石田、今田メ、鯖尻、多胡、長尾、福田(宏)、水谷、堀江の9名が参加しました。IBCの台湾高雄ポートクラブからの6名を含め100余名の参加者があり盛大な記念例会でした。



(西日本区大会アピール)

**第1部**は丹羽和子牧師の奨励をいただき、高瀬理事、水野総主事の祝辞のあと、20年のあゆみ、活動報告がなされました。また参加者には冊子「二十周年記念誌」が配布されましたが15周年以来の5年間の活動、またメンバー全員の写真、自己紹介など実に丁寧な記述がなされていました。

**第2部**は記念講演、岡野アジア会長の「アジアの中の日本のワイズ」でした。

国際の中のアジア、アジアの中の日本の位置づけ、役割りの重要性を話され、「YMCAをサポート」はもちろんのこと、一歩進んで「YMCAと共に働こう」という力強いメッセージがありました。

**第3部**は記念祝会、‘わこうど’の二人組の演奏、歌のあと、ビュッヘ方式の楽しい会食の時間がもたれました。多胡メンから3月11日の

**「希望の凧あげ」のアピールをしました。**

杉本実行委員長の謝辞、佐伯会長の閉会点鐘で4時間の楽しい例会を終えました。



今年も東日本の震災を覚えて追悼凧揚げを宝塚ワイズが中心となって行う事を神戸学園都市20周年記念例会でアピールしました。

### 3・11 東日本震災追悼凧揚げ！

今年の宝塚ワイズの取り組みは既に前回のブリテンでお知らせ済みですが、その後の動きと決定事項、ご協力いただきたい事柄をお知らせいたします。

昨年までポートワイズが中心に呼びかけて須磨海岸で行っていた凧揚げは都合により出

来なくなり宝塚にジョイントということで今回は六甲部のクラブからも応援参加して下さいます。

当日の詳細ははんしん自立の家、むこう学校、宝塚ワイズの各担当で相談して決めますが以下のような流れになると思います。障がいのある方々と一緒に希望の凧を揚げて東日本の被災者の方々の心に寄り添いましょう！

集合日時 3月11日(火) 午後12時

集合場所 はんしん自立の家

#### (プログラムの流れ)

1. 12:00~13:00 受付、凧作り等の準備
2. 13:00 参加者集合時間凧作り
3. 14:00~15:00 むこにゃん広場で凧揚げ
4. 15:00~ 片付け、解散

\*はんしん自立の家への行き方

- 1) 逆瀬側から甲東園行きバス11:35発に乗り東蔵人下車
- 2) 長尾さんの車に便乗(阪急仁川駅前競馬場側)11:30集合

参加者・はんしん自立の家の入居者の方々  
・宝塚市内周辺の福祉施設に通っておられる障がいのあるの方々  
・一般市民

ボランティアおよび主催側

- ・武庫川がっこうメンバー
- ・凧の会、連凧の会のメンバー
- ・関西学院ワングル部有志
- ・ワイズメンズクラブメンバー
- ・神戸医療専門学校有志
- ・その他はんしん自立の家のボランティアメンバー

日時 : 3月11日(火) 12:00~15:00

場所 : はんしん自立の家、武庫川河川敷

主催 : YMCA、宝塚ワイズメンズクラブ、武庫川がっこう

後援 ; 宝塚市、宝塚さざんか福祉会、はんしん自立の家。

多胡 葉子

## 六甲部チャリティー

### ボウリング大会

2月8日土曜日、大変寒い一日でした。ボウリングを2月8日の前は何時したのか思い出せないほどむかしで、何十年ぶりです。2ゲームしましたが、1ゲームは100点が出ません。

足の運びも忘れていました。さて2ゲーム目は目標が100点に定め頑張りま



したおかげで110点優勝点数が140点台なので次回は優勝します。参加者が少なかったのですが、楽しく過ごす事ができました。少しですが東日本大震災支援金が出来ました。

長尾 亘

## 【今月のみ言葉】

辻 建 牧師

日本のベートーベンと言われていた全聾の作曲家、佐村河内守さんの曲が、他人に依頼した曲であったということが発表されて衝撃が走っています。その交響曲第一番「HIROSHIMA」や「レクイエム」は東北大震災の被災者を励ます名曲として広く聞かれていれました。音楽にせよ、言葉にせよ、私たちが発する言葉や音楽は人のところに染みこんで、聞く人の生き方を変えていくものです。しかし残念ながら、私たちは人を失望させたり、氣力を失わせる言葉を吐くことはしばしばですが、人を生かす言葉を吐くことは至難のわざとしか言い

ようがありません。だがイエスの言葉は違っていました。「行きなさい。あなたの信仰があなたを救った。」このひと言が、聞く者の生き方を変えていったのです。わたしたちの口から発せられる言葉の持つ力、それをあらためて思われます。



1. 第31回タイワークキャンプ延期について  
例年、ご支援をいただき30年来続いている標記キャンプですが、14年3月14日～3月26日で募集を行っていた第31回タイワークキャンプですが、タイ国の政治的不安定な状況を鑑み、不催行を決定いたしました。タイ北部は政治的混乱がない、とチェンマイYMCAからの報告は受けていますが、現状では、100%安全が保障されているわけではありません。YMCAとしては、大変難しい決断ですが、この3月のタイワークキャンプの実施を見送り、第31回のワークキャンプについては15年3月に延期とさせていただきます。(現地の学生と日本の学生の長期休暇の日程調整をしましたが、3月以外の実施が難しく、1年先にのぼすこととしました)。皆様には、ご支援の準備や広報をお手伝いいただき、誠にありがとうございました。これで期間があきますので、尚いっそうの交流の推進をしつつ、これまで以上の関係が築けるようにいたしますので、あわせてご支援お願いします。

## 2. 新センター工事進捗と三宮再開発進捗

2014年9月開設の阪神岩屋駅そばの「神戸YMCAファミリーウエルネスセンター」ですが、いよいよオープンに向けて募集を開始します。3月20日にはその開設準備室をJR灘駅(新センターより徒歩5分)にオープンし、募集活動

を中心に準備をはじめます。また先日からホームページでも新センター開設の案内をはじめました (<http://www.kobeymca.org/fwc/>)。

facebook をされている方はぜひ facebook でも検索していただき「いいね」をしてください!

また三宮会館ですが、現在活動しているもののうち、専門学校などの教育活動は4月より、本部などの機能については6月ごろ、新神戸に引越しをいたします。引越し先は新神戸オリエンタルシティの2階となります。三宮ウエルネスの活動は7月まで実施をし、9月より神戸YMCA ファミリーウエルネスセンターでの活動となります。

### 3. 今後の予定

#### 1) 西宮・宝塚リーダー卒業感謝礼拝

神戸YMCAでは、ほとんどのプログラムがボランティアの関わりがあり、成り立っています。特に大学生のユースリーダーは野外活動やサッカーなど、子どもに関わるプログラムでは大きな力となってきており、宝塚のバザーや諸行事でもみなさんもその働きをご覧いただいています。西宮・宝塚地域での活動した7名の大学生たちが社会人として巣立つことと一年間の彼らの働きが守られて終えられることを感謝し、3月6日13:00から日本福音ルーテル西宮教会で感謝礼拝を持ちます。地域の働きを共に守ったユースリーダーのことをお祈りに加えていただければと思います。

#### 2) 創立記念日礼拝

神戸YMCAは、2014年5月8日(木)で創立128周年を迎えます。今回は、前神戸キリスト教青年会会長 宝塚ワイズメンの武田寿子様をお迎えして「YMCAからの賜物」というタイトルでメッセージをうかがいます。記念礼拝を通して、創立当時の指導者の志にあらためて思いをいたし、未来に向かって私たちの志を確認したいと思います。どなたでもご自由にご参加ください。

日 時 2014年5月8日(木)

午後6時30分～8時

会 場 三宮会館 チャペル